

科目名	音楽Ⅱ		科目コード	2019	
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	2	形態	講義
教員名	鈴木亜希子				
授業の目的及びテーマ					
初等芸術教育に関わるものとして必須である、豊かな音楽教養と可能な限りの音楽実践力を身に付ける事を目的とする。					
授業概要					
<p>音楽教養として、西洋音楽の高度で素晴らしい史的変遷を音・音楽・楽譜から学ぶ。またこのことにより、西洋音楽以外の音楽についても、その質と傾向を判断できる審美眼をもつ足掛かりとなる。</p> <p>もう一方の音楽実践力としては、音楽Ⅰで学んだ楽譜を読む力を利用し、音楽の創作領域の入門として編曲を学ぶ。ここでの編曲とは、例えばピアノ曲をそのままアンサンブルにする(トランスクリプション)ではなく、原曲に編曲者の創意工夫があされる、本来の意味での編曲(アレンジメント)の方法を、施策を通じて学ぶ。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：ヨーロッパ音楽史概観、古代ギリシャの音楽</p> <p>第 2 回：中世の音楽</p> <p>第 3 回：ルネサンスの音楽</p> <p>第 4 回：バロックの音楽</p> <p>第 5 回：古典派の音楽</p> <p>第 6 回：ロマン派の音楽</p> <p>第 7 回：20 世紀の音楽</p> <p>第 8 回：音楽史まとめ</p> <p>第 9 回：ピアノ伴奏と和音（主要三和音）</p> <p>第 10 回：ピアノ伴奏と和音（ポジション、属七の和音）</p> <p>第 11 回：和音の選び方、借用和音</p> <p>第 12 回：音楽の形式</p> <p>第 13 回：合唱編曲（二部合唱）</p> <p>第 14 回：合唱編曲（混声合唱）</p> <p>第 15 回：編曲の実践</p>	<p>◆レポート課題「ヨーロッパ音楽の特徴」</p> <p>国と時代の違う次の 4 つの音楽について、各項ごとに 400 字程度でそれぞれの特徴を述べる。その際、できるだけ互いの違いが分かるように留意するように。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イタリアのルネサンス音楽の特徴 2. 古典派音楽の特徴 3. ロマン派音楽の特徴 4. フランスの印象派音楽の特徴 <p>◆作品提出</p> <p>課題 A（小曲の試作）または課題 B（合唱曲に編曲）のいずれかを選び、楽譜を作成して提出する。</p> <p>課題 A：リコーダーとピアノによる 3 部形式の楽曲にするように。</p> <p>課題 B：以下の曲の中から一つ選び、無伴奏の混声合唱かピアノ伴奏付きの女声合唱（二部）とすること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 埴生の宿 Home,sweet Home・・・Sie.H.R.Bishop 2. 旅愁 Dreaming of Home and Mother・・・J.P.Ordway 3. 野なかの薔薇(ウエルナー) Heidenröslein・・・H.Werner 4. 夢路より Beautiful Dreamer・・・S.C.Foster 5. アロハ・オエ Aloha Oe・・・Liliuokalani 6. アニー・ローリー Annie Laurie・・・J.Scott 7. ローレライ Lorelei・・・Silcher 8. 庭の千草 Last Rose of Summer・・・T.Moore 				
テキスト	<p>ヨーロッパ音楽の流れ 出) 芸術現代社 著) 渡邊學而</p> <p>誰にでもできる編曲入門 出) 音楽之友社 著) 横山詔八</p>	参考文献			
評価方法：					
通信授業は提出課題（2 件）を以って評価する					